

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公表番号】特表2010-535486(P2010-535486A)

【公表日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2010-519503(P2010-519503)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 5/14 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 14/52

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 3/00
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 5/14
 A 6 1 P 1/16
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 29/00 1 0 1
 A 6 1 P 1/00
 A 6 1 P 13/12
 A 6 1 P 25/00 1 0 1
 A 6 1 P 11/00
 G 0 1 N 33/53 M
 G 0 1 N 33/53 D
 G 0 1 N 33/577 B
 C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月22日(2011.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レプチン受容体ポリペプチドの少なくとも1つのレプチン結合ドメインに直接または間接的に連結されるレプチンポリペプチドのアミノ酸配列またはその活性部分を含む融合ポリペプチド。

【請求項2】

前記融合ポリペプチドが、以下：

i) 免疫グロブリン様ドメインを；

i i) 少なくとも1つのサイトカイン様相同性ドメイン；

i i i) 少なくとも1つのフィブロネクチン I I I 結合ドメイン；

i v) 配列番号41のアミノ酸残基425から535；

v) 配列番号41のアミノ酸残基536から635；

v i) 配列番号41のアミノ酸残基326から427；

v i i) 配列番号41のアミノ酸残基62から178；

v i i i) 配列番号41のアミノ酸残基235から325；

i x) 配列番号41のアミノ酸残基636から733

x) 配列番号41のアミノ酸残基734から829；及び

x i) 配列番号41のアミノ酸残基428から635

からなる群から選択される2つのレプチン結合ドメインを含む、請求項1に記載の融合ポリペプチド。

【請求項3】

前記レプチンポリペプチドは、レプチン受容体の少なくとも1つのレプチン結合ドメインに連結され、前記レプチンポリペプチドは、前記融合ポリペプチドにおいて前記レプチン結合ドメインのアミノ末端側に位置する、請求項1又は2に記載の融合ポリペプチド。

【請求項4】

前記レプチンポリペプチドは、レプチン受容体の少なくとも1つのレプチン結合ドメインに連結され、前記レプチンポリペプチドは、前記融合ポリペプチドにおいて前記レプチン結合ドメインのカルボキシル末端側に位置する、請求項1又は2に記載の融合ポリペプチド。

ド。

【請求項 5】

前記レプチンポリペプチドは、ペプチドリinkerによって、レプチン受容体ポリペプチドの少なくとも1つの結合ドメインに連結される、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 6】

前記ペプチド連結分子は、ペプチド Gly Gly Gly Gly Ser の少なくとも1コピーを含む、請求項 5 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 7】

i) 配列番号 3 で表される核酸配列、
i i) 配列番号 5 で表される核酸配列、
i i i) 配列番号 7 で表される核酸配列、
i v) 配列番号 9 で表される核酸配列、
v) 配列番号 11 で表される核酸配列、
v i) 配列番号 13 で表される核酸配列、
v i i) 配列番号 15 で表される核酸配列、
v i i i) 配列番号 17 で表される核酸配列、
i x) 配列番号 19 で表される核酸配列、
x) 配列番号 21 で表される核酸配列、
x i) 配列番号 23 で表される核酸配列、
x i i) 配列番号 25 で表される核酸配列、
x i i i) 配列番号 27 で表される核酸配列
から選択される核酸配列を含む核酸分子、
配列番号 3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、23、25 または 27
とストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズし、レプチン受容体調節活性を有するポリペプチドをコードする核酸配列を含む核酸分子。

【請求項 8】

配列番号 4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39 または 40 で表されるアミノ酸配列を含むポリペプチド。

【請求項 9】

2つのポリペプチドから成るホモ二量体であって、前記ポリペプチドはそれぞれ、
i) レプチンまたはその受容体結合ドメインを含む第1の部分と、ペプチド連結分子によってそれと任意選択で連結される
i i) レプチン受容体の少なくとも1つのレプチン結合ドメインまたはその部分を含む第2の部分と
を含むホモ二量体。

【請求項 10】

前記ホモ二量体は、配列番号 2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39 または 40 を含む2つのポリペプチドを含む、請求項 9 に記載のホモ二量体。

【請求項 11】

賦形剤または担体を含み、請求項 1 から 6 又は 8 から 10 のいずれか一項に記載のポリペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 12】

さらなる治療薬と組み合わせられる、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

肥満又は肥満関連性の状態の治療において使用するための、請求項 1 から 6 又は 8 から 10 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 14】

前記ポリペプチドは、2日間隔、1週間隔、2週間隔、又は1か月間隔で投与される、請求項13に記載のポリペプチド。